

施策事例 ① 住民参画・NPO・ボランティア関連施策

エココミュニティ会議

自治体情報 兵庫県西宮市

人口 / 472,650人 標準財政規模 / 97,239百万円

担当課 環境学習都市推進課
電話番号 直通 0798-35-3397
実施主体 西宮市
関連ホームページ <http://info.leaf.or.jp/>

事業期間 平成17年度
関係施策分類 ⑤

予算関連データ

総事業費：3,481千円（H23）

名称	所管	金額(千円)
一般財源	-	3,481

施策のポイント

地域が自主的に取組内容を決めるため、地域ニーズに即した、地域に根ざしたまちづくりを進めることができる。また、市職員や地域内事業者もメンバーとして参加することにより様々な視点からのまちづくりが可能となっている。

施策の概要

1. 取組に至る背景・目的

- (1) 西宮市では、2003年に全国初となる「環境学習都市宣言」を行っており、2005年には同宣言を踏まえて新環境計画を策定。この計画の基本施策の一つとして、地域住民が主体となって環境まちづくりを推進するための「エココミュニティ会議」の設置を市内で呼びかけている（平成24年8月末現在18地区設置）。
- (2) この取り組みは、地域が主体となった環境まちづくりの推進及び活動を通して、各主体（市民・事業者・行政の参画と協働）・各種団体の横断的なつながりの醸成、地域一体で人材育成を行うことも目的としている。

2. 取組の具体的内容

- (1) 取組内容については、どの地区もまず、環境を切り口に地域の課題について情報を共有し、それを踏まえて決定するため、地域により異なり、また多岐にわたる。
- (2) 平成23年度の実施内容は、ごみ減量、子どもと共に行う自然体験学習、防災・歴史の観点を含めた地域学習、マイバッグ持参運動、省エネ活動等。

3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

- (1) 地域住民が主体となり、事業者・行政の参画と協働による環境まちづくりを推進することにより、地域に根ざしたまちづくりを進めていく。
- (2) 市民の環境学習活動の推進（効果は、エコカード等のスタンプ数で把握）。

4. 現在までの実績・成果

- (1) エココミュニティ会議の設置数 平成24年8月末現在18地区設置
- (2) 市民の環境学習活動の把握
 - ①平成23年度エコカードのアースレンジャー認定者 5,410人 103,094ポイント
（平成17年度アースレンジャー認定者1,736人）
 - ②平成23年度市民活動カードの15活動認定者 1,048人 26,570ポイント
（平成17年度の15活動認定者ポイント数 4,243ポイント）

5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦勞した点とその対処法・解決策など

地域によって、活動している団体が様々であり、またその団体の体系も異なるため、地域合意の上でエココミュニティ会議を設置するにあたっては、入念な下調べが必要となる。そのため、各種団体の長への聞き取り調査の実施、定例会での説明会等を1地区に対し複数回実施する必要がある。

6. 今後の課題と展開

- (1) 全市域でのエココミュニティ会議の設立を進める。
- (2) 環境教育等促進法・ESDの理念を踏まえた環境学習活動の推進及び地域内の幼保小中高校・大学との連携による地域一体となった取り組みの推進を図っていく。